

平成 26 年 12 月期 決算概要

中野冷機株式会社

## 平成 26 年 12 月期の総括（連結）

当連結会計年度（平成26年1月1日～平成26年12月31日）におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策等の効果により企業収益が改善し、それに伴い雇用情勢は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、一方で消費税増税前の駆け込み需要の反動が長期化する懸念、また円安による原材料価格の上昇等に対する懸念などにより、不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要顧客である食品流通業界におきましては、消費税増税前の駆け込み需要とその反動の長期化に加え、夏場の天候不順による影響等による売上の伸び悩みもありました。設備投資に関しましては、一部のコンビニエンス・ストアや小型食品スーパーでは積極的な出店がみられましたが、建築資材の高騰などの影響で新規出店を見送る企業もでております。また、業態を超えた商品政策競争や価格競争及びパート賃金の上昇や人員不足等、引き続き厳しい経営が続いております。

このような中、当社グループは、積極的に新規出店、店舗の改装等を計画しているスーパーマーケットあるいはコンビニエンス・ストアなどの顧客のご要望にお応えすべく、より柔軟でスピーディーに対応できる営業・生産体制を編成し、顧客にご満足いただけるよう努めてまいりました。また、電気料金の値上げ等から顧客の省エネ意識がさらに高まっていることに合わせ、省エネ設備の導入について積極的な提案を行ってまいりました。

当連結会計年度は、スーパーマーケット及びコンビニエンス・ストア向け売上が好調に推移し予想を上回る増収増益となりました。

その結果、売上高は434億62百万円（前年同期比117億27百万円、37.0%増）、経常利益は75億91百万円（前年同期比37億46百万円、97.5%増）、当期純利益は46億53百万円（前年同期比22億92百万円、97.1%増）となりました。

平成26年12月期 連結会計年度  
連結損益計算書

(単位:千円)

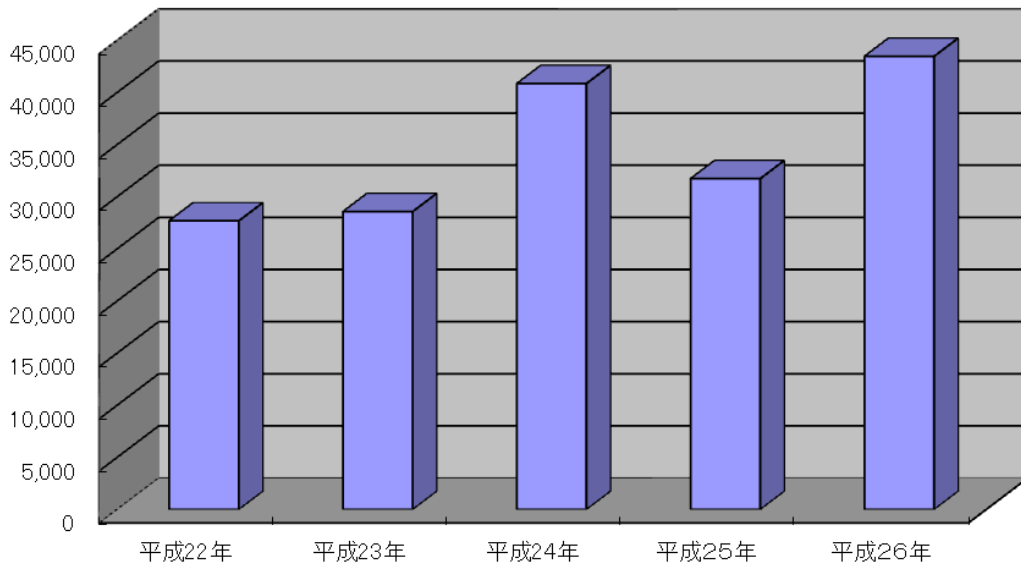
	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
売上高	31,734,509	43,462,504	11,727,995
売上原価	25,886,716	33,652,604	7,765,888
売上総利益	5,847,792	9,809,899	3,962,107
販売費及び一般管理費	2,083,826	2,367,432	283,606
営業利益	3,763,966	7,442,467	3,678,501
営業外収益	94,919	157,071	62,152
営業外費用	14,303	8,391	△5,912
経常利益	3,844,582	7,591,146	3,746,564
特別利益	1,223	2,511	1,288
特別損失	5,442	4,101	△1,341
税金等調整前当期純利益	3,840,363	7,589,557	3,749,194
法人税、住民税及び事業税	1,142,342	3,173,597	2,031,255
法人税等調整額	306,287	△284,973	△591,260
少数株主損益調整前当期純利益	2,391,732	4,700,933	2,309,201
少数株主利益	31,106	47,743	16,637
当期純利益	2,360,626	4,653,189	2,292,563

平成26年12月期 連結会計年度  
連結貸借対照表

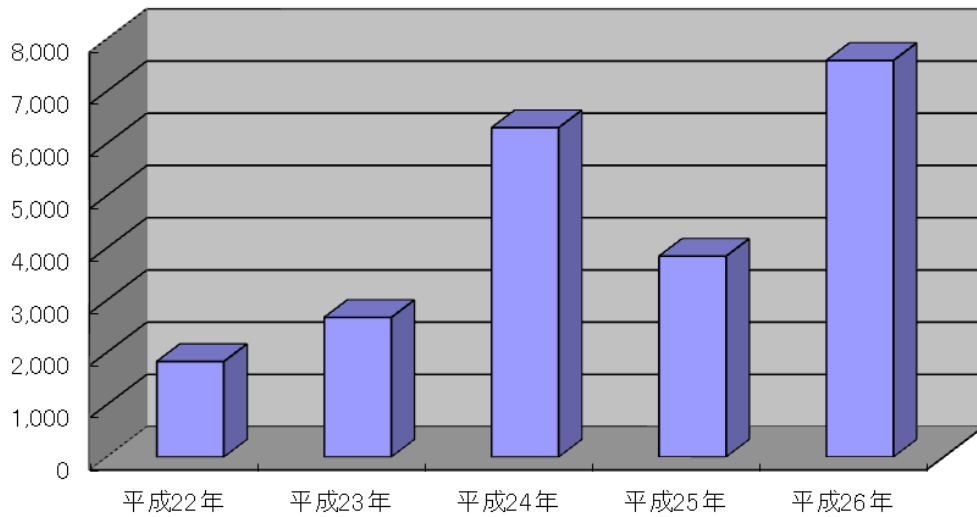
(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
流動資産	29,305,967	39,977,047	10,671,080
固定資産	5,041,653	5,157,310	115,657
有形固定資産	2,544,875	2,462,230	△82,645
無形固定資産	358,864	401,227	42,363
投資その他の資産	2,137,913	2,293,853	155,940
資産合計	34,347,620	45,134,358	10,786,738
流動負債	8,330,236	14,044,482	5,714,246
固定負債	3,111,865	3,243,620	131,755
純資産	22,905,518	27,846,255	4,940,737
負債・純資産合計	34,347,620	45,134,358	10,786,738

連結売上高推移(単位:百万円)



連結経常利益推移(単位:百万円)



平成 27 年 12 月期 業績予想

中野冷機株式会社

## 平成 27 年 12 月期の業績予想

次期の見通しにつきましては、経済政策や金融緩和政策によって企業収益の改善や雇用環境の持ち直しがみられるなど景気は緩やかながら回復の動きがあるものの、為替や原油価格の変動が影響する可能性もあり不透明な状況が続くものと予想しております。

当社グループの主要顧客である食品流通業界につきましては、消費者物価の緩やかな上昇によりデフレ状況は回復しつつあるものの、業態を超えた商品政策競争や価格競争、パート賃金の上昇や人員不足等、引き続き厳しい経営が続くものと予想されます。一方、一部のコンビニエンス・ストアに関しましては、品揃えの強化・拡充を図るため積極的な設備投資が予想されています。

このような状況の下、当社グループは、これまで以上に顧客ニーズへ柔軟でよりスピーディーに対応できるよう営業・生産体制を強化し、これまで以上に省エネ技術の開発、省エネ提案等による営業活動の強化に取り組み、食品小売店舗、物流センターの受注に注力し、また一層の生産性の向上とコストダウン、経費削減を徹底し、売上・利益を確保してまいります。

しかしながら、当社グループの次期の業績につきましては、当期のように非常な好業績を維持することが難しい状況であり、減収減益は避けられない見通しです。

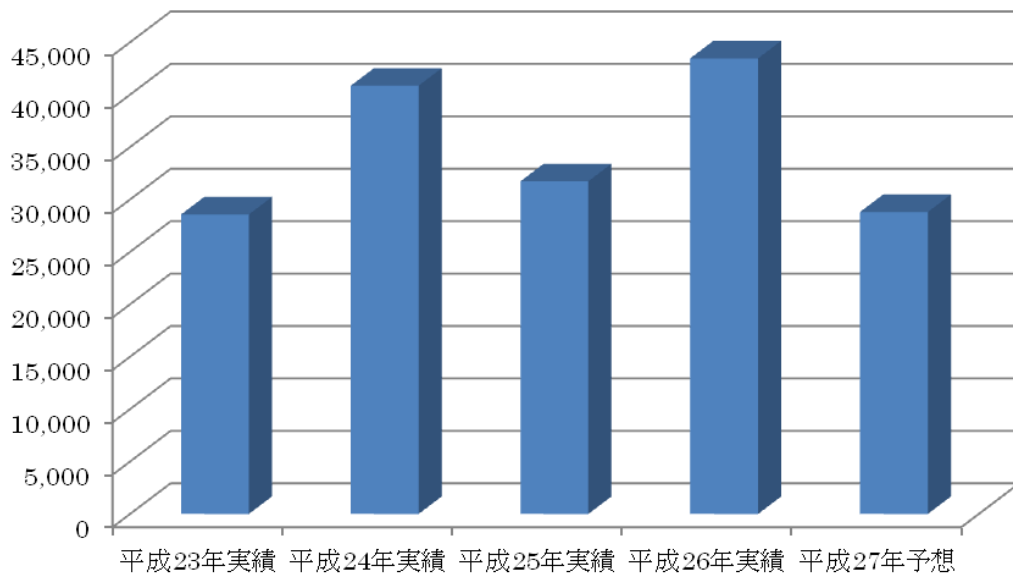
従いまして、当社グループの次期の業績につきましては、売上高は288億円、営業利益は17億40百万円、経常利益は18億20百万円、当期純利益は11億50百万円としております。

連結

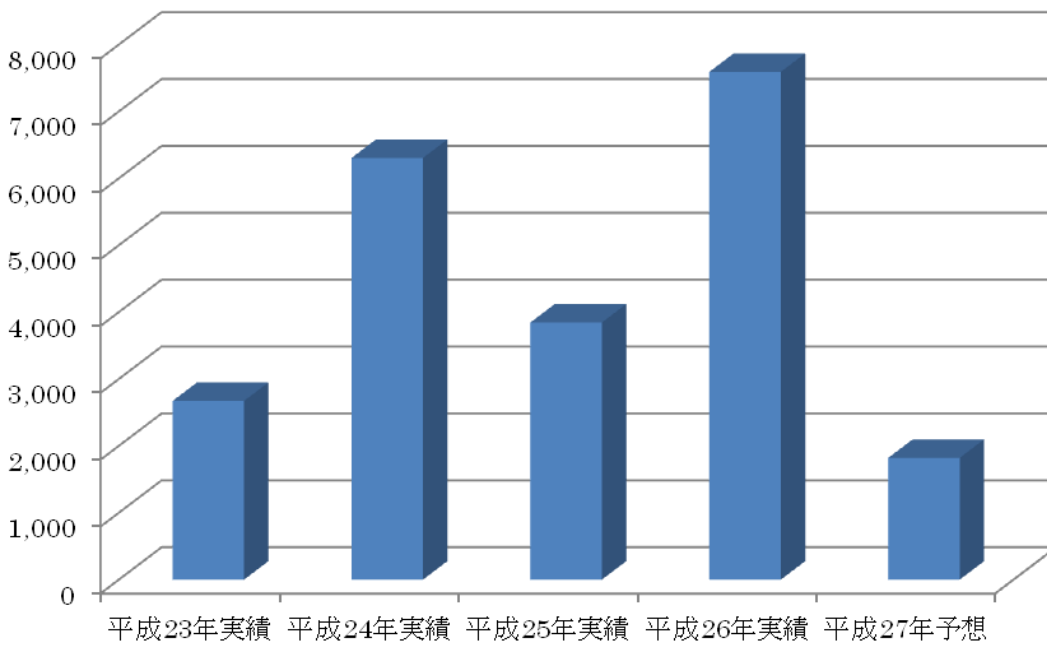
(単位：百万円)

	平成 26 年 12 月期実績	平成 27 年 12 月期予想	増減率 (%)
売上高	43,462	28,800	△33.7
営業利益	7,442	1,740	△76.6
経常利益	7,591	1,820	△76.0
当期純利益	4,653	1,150	△75.3

連結売上高の推移（予想、単位：百万円）



連結経常利益の推移（予想、単位：百万円）



本資料に関するお問合せ

中野冷機株式会社

経理部

TEL : 03 - 3455 - 1311

E-mail : [keiri@nakano-reiki.com](mailto:keiri@nakano-reiki.com)